

東京工芸大学・風工学共同利用共同研究拠点・オープンセミナー

フィリピンにおける 2013 年の地震・台風被害に関する研究会

フィリピンでは、2013年に甚大な地震災害と台風災害が発生し、深刻な社会不安がもたらされ、現在でも懸命に復興のための努力がなされている。災害の深刻さ、建築物等の被害の多様性、実態を把握することの社会的、学術的重要性から、関連する種々の分野の専門家による現地調査、被害の分析が行われている。

本研究会では、現地調査の成果を踏まえて、材料や構法、あるいは地震力や風外力の視点から被害を分析、紹介し、問題点や今後採るべき対策について議論する。

形式張らないオープンな意見交換を行うべく、議論主体の研究会とする予定である。奮ってご参加いただき、活発なご討論をお願いする次第である。

なお、本研究会での主たる発表内容は、(独)国際協力機構(JICA)が復興支援を目的として派遣した「ボホール地震及び台風ヨランダ災害後の学校校舎強靱化に関する専門家団 Expert Mission on Resiliency of School Buildings for Post Bohol Earthquake/Typhoon Yolanda Disaster」の現地調査結果によるものである。

と き： 2014年8月22日(金) 13時~18時 <研究会後の施設見学を含む>

ところ： 東京工芸大学・厚木キャンパス

本館6階・会議室

(小田急小田原線・本厚木駅より、バス25分またはタクシー15分)

参加費： 無料

講師(五十音順)：

清水豊和(五洋建設)

高橋之(名古屋工業大学)

田村幸雄(東京工芸大学)

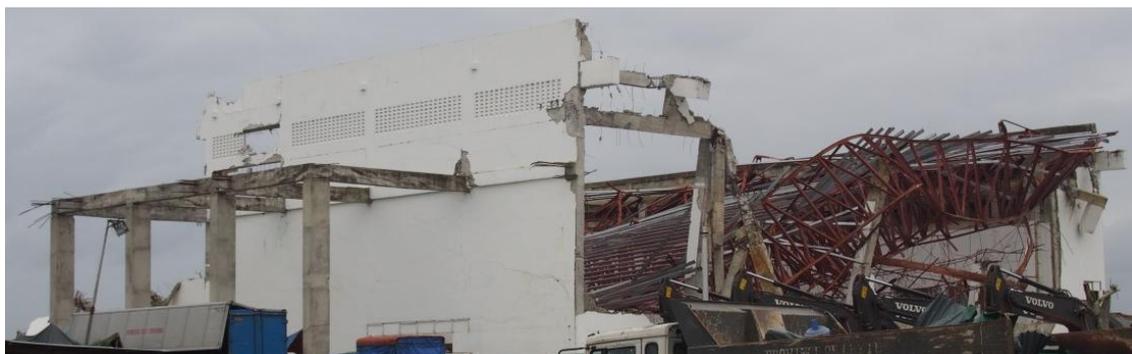
檜府龍雄(国際協力機構 JICA)

西嶋一欽(京都大学防災研究所)

三田紀行(職業能力開発総合大学校)



小田急小田原線・本厚木駅周辺
(新宿から急行で53分)



フィリピンにおける 2013 年の地震・台風被害に関する研究会

プログラム

13:00 - 13:10 開会の挨拶

田村幸雄

13:10 - 13:35 檜府龍雄（国際協力機構 JICA）

2013 年フィリピン災害の被害調査の概要と被害の概況

13:35 - 13:45 質疑応答

13:45 - 14:10 高橋 之（名古屋工業大学）

RC 建物の地震被害

14:10 - 14:20 質疑応答

14:20 - 14:45 清水豊和（五洋建設）

フィリピンの地震・台風災害による建物の被害とその軽減対策

14:45 - 14:55 質疑応答

14:55 - 15:15 休憩

15:15 - 15:40 三田紀行（職業能力開発総合大学校）

フィリピンにおけるコンクリートブロック帳壁の被害の概要

15:40 - 15:50 質疑応答

15:50 - 16:15 田村幸雄（東京工芸大学）

台風ハイヤンによる学校建築および大スパン建築物等の風被害の特徴

16:15 - 16:25 質疑応答

16:25 - 16:50 西嶋一欽（京都大学防災研究所）

フィリピンにおけるノンエンジニアド建築の耐風性能に関する現状分析

16:50 - 17:00 質疑応答

17:00 - 17:05 閉会

17:05 - 18:00 施設見学

①竜巻シミュレータ

②構造用小型 2 次元風洞

③構造用中型境界層風洞

④外装材試験用動的プレッシャチャンバ

⑤環境用中型境界層風洞

⑥環境用小型可視化風洞

⑦環境用温度成層中型風洞

⑧環境用アクティブマルチファン気候風洞

⑨構造用大型境界層風洞